

輸出事業計画

申請者名：株式会社ネオ・エモーション

品 目：冷凍寿司

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・(株)三崎恵水産より高品質なマグロを安定的に入手することが可能
- ・シンガポールに日本食レストランを経営するグループ法人(MEGUMI F&S Singapore Pte. Ltd. 以下MEGUMI Singapore)があり、シンガポールの一般顧客のニーズなど、現地法人からの情報収集が可能
- ・市場統計サイト「statista」のデータによると、シンガポールEコマースの2021年の売上は約62億8,000万米ドル、2022年には約72億米ドル、2025年には114億5,000万米ドルの売上が予測されるなど、コロナ禍で爆発的に大きくなったオンラインショッピング市場が未だ成長を続けており、自宅で手軽に食べられる日本食が脚光を浴びている

【課題】

- ・輸出の長期輸送に耐えうるお寿司等の製造・商品開発
- ・品質を維持した状態で凍結が可能な設備の導入が必要
- ・直接海外へ届けるコールドチェーンを含む物流整備
- ・販売経路や販売場所などの確保

2. 輸出事業計画の取組内容

取り組み①

- ・冷凍機器の導入・加工設備の整備及び加工食品のPR等を実施

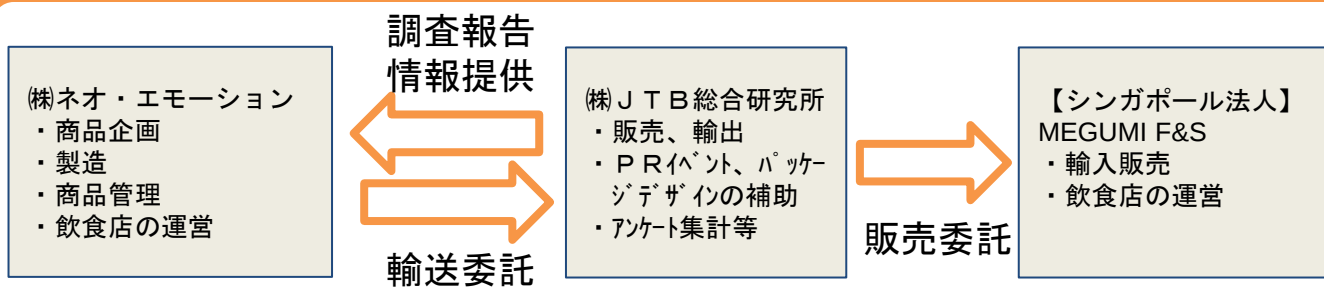
取り組み②

- ・輸出の長期輸送に耐えられるように凍結工程を増やす
- ・凍結効率が上がるよう、容器を改良する
- ・寿司だけではなく丼、巻物、軍艦などの体積のある商品も液体凍結に対応可能であるのか検証する

取り組み③

- ・店頭で販売を行うビジネスモデルを他店舗に拡大する
- ・日本食問屋とのオンライン販売モデルを検討する

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

【冷凍寿司】	現状（令和3年度）	目標（令和7年度）
輸出額(千円)	0	13,140千円
輸出量（kg）	0	1,261.4kg
輸出先国	—	シンガポール